

平成19年度「災害時における消防と医療の連携に関する検討会」
報告書の公表

平成7年の阪神・淡路大震災以降、国や地方公共団体の危機管理意識は一層高まり、消防・防災、医療等の分野において、災害対策・制度の充実が図られてきました。

そうした中、平成16年の新潟県中越地震、平成17年のJR西日本福知山線列車事故における救急救助現場での消防と医療の連携活動において指摘された問題点の解決や、より効果的な連携体制の確立を目的として、平成18年から本検討会を開催してきました。

平成19年度の検討会では、前年度の報告書を踏まえ、災害時における消防と医療の連携に関し、「具体的な連携マニュアル（評価指標）」に重点を置き検討を行い、評価シートの作成と当該シートを用いた消防機関等を対象としたアンケート調査を実施しました。本調査を通じ、都道府県及び消防機関における連携体制、体制強化に向けた課題、DMAT*数等の医療資源について客観的な自己評価がなされたところですが、調査結果の分析及び今後の課題等について、平成19年度の検討会報告書としてとりまとめましたので、公表します。

* DMAT (Disaster Medical Assistance Team)
地震災害や列車事故などの災害現場に医師・看護師等が救急車やヘリ等で急行し、救命処置を実施する「災害医療派遣チーム」

【別添資料】

- [「平成19年度災害時における消防と医療の連携に関する検討会報告書」のポイント](#)
- 「平成19年度災害時における消防と医療の連携に関する検討会報告書」
- ※ [報告書全文](#)は、消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/>) に掲載します。



(連絡先)
消防庁救急企画室
担当：松野課長補佐・島田救急推進係長
電話：03-5253-7529 (直通)
FAX：03-5253-7539